

Family

令和5年10月特別号
(全国学力・学習状況調査)
小野市立河合小中学校

6年生 全国学力・学習状況調査について

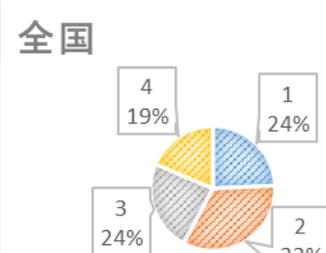
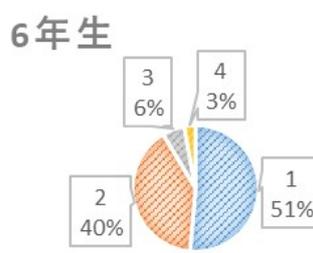
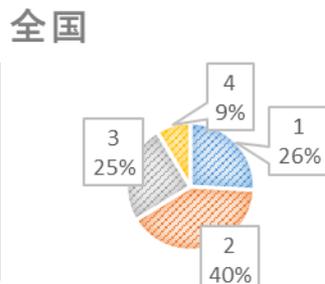
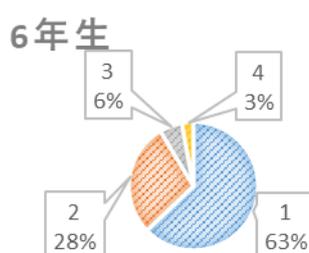
河合小学校長 西村 奈保子
河合中学校長 高瀬 城作

6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が4月に行われました。全国や県の結果が報道され、小野市でも結果が分析されてHP上に公表されています。本校の結果とその分析は下記のとおりです。今後とも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの社会性を豊かにし、学力を向上させていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひ致します。

◎6年生 生活調査 <とくに良好だった項目>

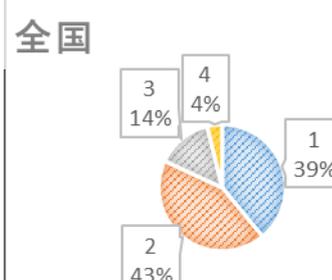
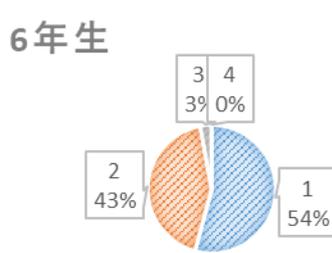
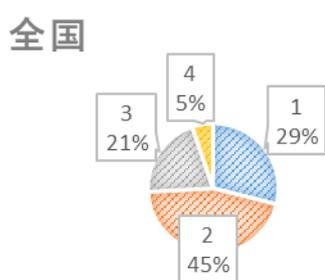
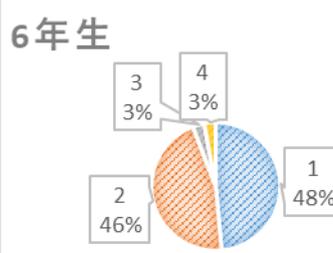
家で自分で計画を立てて勉強していますか

今住んでいる地域の行事に参加していますか



学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

授業で学んだことをほかの学習で生かしていますか



1 当てはまる

2 どちらかといえば当てはまる

3 どちらかといえば当てはまらない

4 当てはまらない

【本校の特徴と考察、今後の課題】

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」など、生活習慣に関する質問の回答に関しては肯定的なものが多く、規則正しい生活が送れていることが見受けられます。また、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えると思いますか」や「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」などの質問に対しても肯定的な回答が多くありました。5年生までの授業での「ICT 機器の使用頻度」や「発表の機会」、「考えをまとめる活動」も全国平均を大きく上回っていました。さらに、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対して「当てはまる」や「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が多く、学校だけでなく自分たちが住んでいる地域のために熱心に活動する様子が見られました。

一方で、「読書は好きですか」という質問に関しては、肯定的な回答が全国平均を下回っていました。今後は、専門部活動などの自主的な活動を通して、学級図書を活用や図書室の積極的な利用を推進していきます。

◎6年生 学力調査

結果（全国平均と比較した本校の結果）と各教科の結果と今後の方針

(1) 国語

<p><良好であった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの内容を読み、話し手の考えと比較しながら、自分の考えを書く。 ・複数の資料を読み、内容を理解する。 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 	<p><改善を要する項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・説明の仕方の特徴を理解する。 ・複数の情報の関係性を理解し、活用する。
---	--

【考察及び今後の指導】

- ・どの問題においても無解答がなく、自分の考えを書く習慣が身についています。また、後半の記述問題における正答率がかかなり高く、時間を上手に使って解答できています。
- ・複数の資料を読み、図表やグラフを参考にしながら、必要な言葉を用いてまとめることに課題が見られました。
- ・たくさんの情報から条件に合うものを取捨選択する力の養成が必要です。まずはじめに、じっくり文章を読むことを重視し、次に接続語などに注目しながら、内容を正しく読みとれるよう学習を積み上げていきます。
- ・考えを書く段階では、ただ引用するだけでなく、複数の資料を比較、分析したうえで、文章化を進めるよう留意していきます。

(2) 算数

<p><良好であった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いす4脚の重さをもとに、48脚の重さの求め方と答えを書く。 ・3種類のファイル23人分の長さの求め方と答えを記述し、全てのファイルが糊に入るかを判断する。 ・紙テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前と特徴 ・$(151+49) \times 3$と$151 \times 3 + 49 \times 3$を計算したり、分配法則を用いたりして、答えを求める。 ・アンケート調査の結果をまとめた表から、条件に合う数の組み合わせを選ぶ。 	<p><改善を要する項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙テープを折ったり切ったりして正三角形にするための角の大きさを求める。 ・2つの三角形の面積について、大小判断とその理由を述べる。
--	---

【考察及び今後の指導】

- ・全体的に計算も含め、基礎的・基本的な問題の正答率が高いです。また、全体的に無解答がほぼ見られませんでした。
- ・今後も、基礎基本の定着を図るために、授業や家庭学習で計算ドリルやおの検定を活用していきます。
- ・正答率の低かった設問のうち、上記<改善を要する項目>としてあげた問題については、知識や公式を応用したり、図形をイメージしたりすることを難しいと感じている児童が見られました。
- ・授業において、知識や公式を単純に覚えて問題を解くのではなく、公式化の過程やその意味を考えたり、他との意見交換から別の解法を探ったりする活動に時間をかけていきます。
- ・どの授業においても、言葉での説明や自分の考えを文章表記する練習を行うことで、書く力の定着を図っていきます。
- ・朝の10分間学習の時間を活用し、5分間読解ドリルや読書活動を継続して行うことで多くの文章に触れ、必要な情報を読み取る力をつけていきます。また、思考力をつけるために、教科書の発展問題、発展ドリルを積極的に活用していきます。